

令和7年9月2日

雲 仙 市

担当課	教育委員会 生涯学習課
担当者	主査 深堀 淳
電 話	0957-47-7864
FAX	0957-37-3112

関美奈子コンテンポラリーダンス公演「EXISTENCE」及び ハプニングパフォーマンスイベントの開催について

「ながさきピース文化祭 2025」の一環として、雲仙市小浜町出身でベルリンを拠点にダンサー・振付師として世界的に活躍されている関美奈子氏を招き、故郷の自然や自身の体験から着想したコンテンポラリーダンス公演を開催します。

また、公演に併せて世界中からダンサーや演奏家、有志参加者たちなどを招き、体育館を楽譜に見立てて即興的・実験的に演出したハプニングパフォーマンスイベントを開催します。

1980年代からドイツに渡り、日本とドイツの舞踏の融合に携わりながら60作以上のオリジナル作品を発表している関氏にとっては故郷での凱旋公演となります。

また、共演者としてドイツから来日するチェリストのヴィレム・シュルツ氏は、関氏と同様に世界各地での公演実績があり、今回初の来日公演となります。広報・取材のご協力よろしくお願いいたします。

■イベント概要

ハプニングパフォーマンスイベント		コンテンポラリーダンス公演 「EXISTENCE」	
日時	令和7年10月26日（日） 16時開演（15時30分開場）	日時	令和7年11月23日（日） 15時開演（14時30分開場）
会場	雲仙市小浜体育館	会場	ハマユリックスホール
入場料	無料	入場料	一般2,000円・高校生以下無料 （小学生以下は保護者同伴必須）
出演者	関美奈子、ヴィレム・シュルツ、 瑞宝太鼓、VELVET、さざなみカ ルテット ほか 有志参加者	出演者	関美奈子、ヴィレム・シュルツ

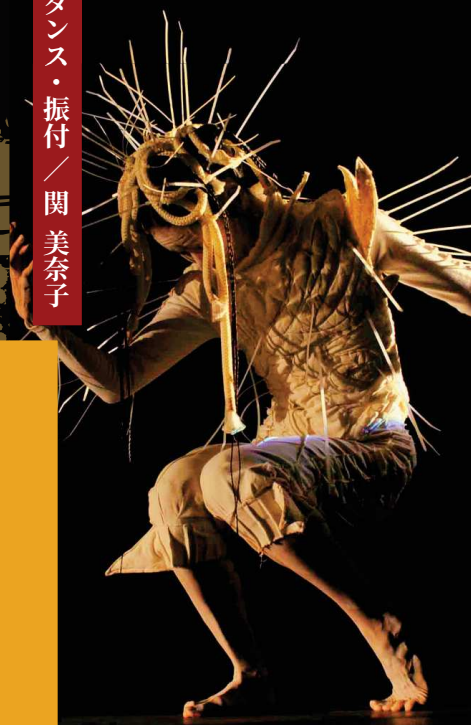
■主催

文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭
長崎県実行委員会、雲仙市、ながさきピース文化祭2025雲仙市実行委員会

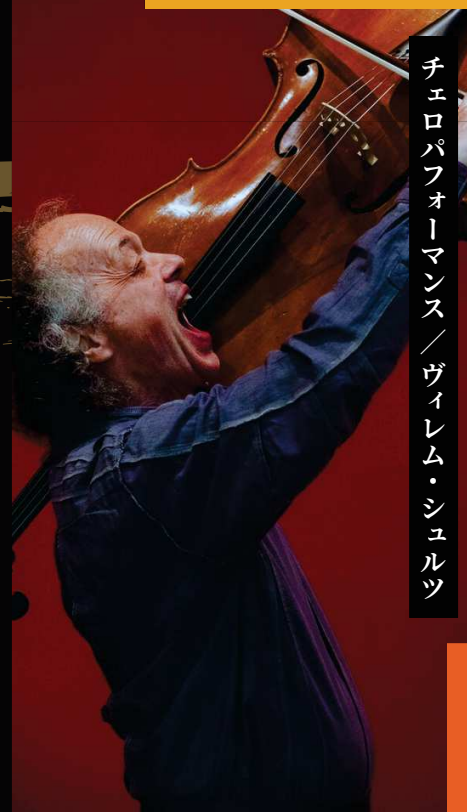
■問い合わせ先

ながさきピース文化祭2025雲仙市実行委員会事務局（雲仙市生涯学習課内）
TEL：0957-47-7864 FAX：0957-37-3112

ダンス・振付／関美奈子



チェロパフォーマンス／ヴィレム・シュルツ



第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭 ながさきピース文化祭2025

関美奈子コンテンポラリーダンス公演



EXISTENCE

体育館全館が、ひとつの舞台に変わる。ダンスと音楽が共鳴し、長崎から世界へと繋がるその瞬間、あなたも物語の一部になる。

ハプニングパフォーマンス

10.26 日 16:00 開演 (15:30 開場)
雲仙市小浜体育館 (入場無料)

雲仙市小浜町出身でベルリンを拠点に世界的に活動するダンサー・関美奈子氏を招き、故郷の自然や自身の体験から着想したコンテンポラリーダンス公演を開催します。

また、公演に併せて世界中からダンサーや演奏家、有志参加者たちなど数十名を招き、体育館を楽譜に見立てて実験的に演出したハプニングパフォーマンスイベントを開催します。 ※出演者情報の詳細は雲仙市HPをご確認ください。

- 【出演】 ● ダンス公演「EXISTENCE」 & ハプニングパフォーマンス
関美奈子、ヴィレム・シュルツ
● ハプニングパフォーマンス
瑞宝太鼓、VELVET、SAZANAMI QUARTET ほか有志参加者

ダンスとチェロパフォーマンスのデュオによる、根源的な問いかけ。生命の持つ“本能”と“弱さ”、その二つの極みに迫る。

ダンス公演「EXISTENCE」

11.23 日 15:00 開演 (14:30 開場)
ハマユリックスホール (有料)

公演チケット： 一般 2,000円 高校生以下無料
(全席自由席・小学生以下は保護者同伴が必要)

各窓口にてチケット販売、無料整理券配布 (平日 10時～17時)

- 国見町文化会館 ※火曜～土曜
- 瑞穂町公民館
- 吾妻町ふるさと会館
- 愛の夢未来センター
- 教育委員会小浜駐在
- ハマユリックスホール ※火曜～土曜
- 千々石総合支所 2階生涯学習課

ローソンチケット
コード：81968



※チケット情報の詳細は雲仙市HPをご確認ください。

詳細情報はこちら



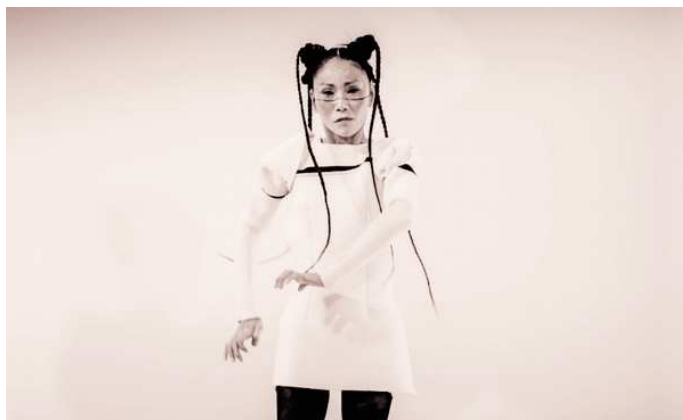
■主催：文化庁、厚生労働省、長崎県、第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭長崎県実行委員会、雲仙市、ながさきピース文化祭2025雲仙市実行委員会

■問い合わせ先：ながさきピース文化祭2025雲仙市実行委員会事務局 (雲仙市教育委員会生涯学習課内)
〒854-0492 長崎県雲仙市千々石町582番地 ☎ 0957-47-7864 FAX 0957-37-3112

ながさきピース
文化祭2025



Cast Profile 出演者紹介



関 美奈子 (ダンス・振付)

Minako Seki ダンサー、振付師、講師

1961年生まれ。雲仙市小浜町富津出身。民族学者・関敬吾を大叔父に、児童心理学者・関寛之を祖父に持つ。1985年、「ダンス・ラブマシーン」を率いる田村哲郎と古川あんにゅに師事。1986年、ベルリンで開催されたヨーロッパ初の舞踏フェスティバル「肉体の反乱」にダンス・ラブマシーンの一員として参加。1988年、日本とドイツの舞踏を融合させたアンサンブル「タトエバ・シアターダンス・グロテスク」の創設者の一人となる。以後、ベルリンを拠点にヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカにおいて、60作以上のオリジナル作品を発表。2019年からアウクスブルクの国立劇場で振付師として活動し、2022年にはヴァイマル国民劇場で振付を担当した作品がドイツなど3か国でベスト10に選ばれた。自身の考案した「関メソッド」を世界中のマスタークラスで指導している。

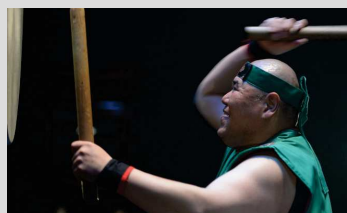


ヴィレム・シュルツ (チェロパフォーマンス)

Willem Schulz チェリスト、作曲家、芸術監督

1950年生まれ。ドイツのハンブルク出身。1967年、デトモルト音楽大学に進学し、1960～70年代の前衛芸術活動（フルクサス）や自由形式での即興演奏に多大な影響を受け、以後、数々の革新的なアンサンブルの共同設立や先進的文化プロジェクトの立ち上げに携わる。1976年にはドイツのメレに現在の活動拠点でもあるワイルドローズ文化センターを設立。既存の芸術、会場、社会に音楽を介入させ相互作用を図るパフォーマンス・アートを追究し、自然や都市建築物のなかで空間を「生きた楽譜」へ変容させる作風で数多くの作品を手掛けた。これまでヨーロッパ、南アメリカ、中国などでサイト・スペシフィックな公演を行っているほか、ビーレフェルトにて現代音楽祭「ディアゴナール」の芸術監督を務めている。今回、自身にとって初の来日公演となる。

ハプニングパフォーマンス出演者



瑞宝太鼓

(和太鼓・篠笛)



VELVET

タリア・ラミレス (歌)
ルーカス・チャベス (ギター)



SAZANAMI QUARTET

波多江崇行 (ギター) 安藤明 (コントラバス)
小瀬泉 (ピアノ) 上村計一郎 (ドラム)

詳細情報はこちら



他にも多数の外国人ダンサーや有志参加者が出演予定！



ながさきピース文化祭2025

■問い合わせ先

ながさきピース文化祭2025雲仙市実行委員会事務局 (雲仙市教育委員会生涯学習課内)

〒854-0492 長崎県雲仙市千々石町戊582番地 ☎ 0957-47-7864 FAX 0957-37-3112